

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【公開番号】特開 2020-126258 (P2020-126258A)

【公開日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-033

【出願番号】特願 2020-69001 (P2020-69001)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

B 3 2 B 27/16 (2006.01)

B 3 2 B 37/12 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/30 (2018.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

B 3 2 B 27/16

B 3 2 B 37/12

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 7/30

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 14 日 (2020.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子の両面である第 1 および第 2 面に、第 1 および第 2 透明保護フィルムが設けられている偏光フィルムの製造方法であって、

前記偏光子は、ポリビニルアルコール系樹脂であり、

前記第 2 透明保護フィルムの厚みが 5 ～ 200 μm であり、

偏光子の第 1 面に第 1 透明保護フィルムが設けられている片保護偏光フィルムにおける偏光子の第 2 面に、活性エネルギー線硬化型接着剤を塗工する工程 (1) と、

前記活性エネルギー線硬化型接着剤を介して、第 2 透明保護フィルムを貼り合わせる工程 (2) と、

前記活性エネルギー線硬化型接着剤に対して、活性エネルギー線を照射して、接着剤層を形成する工程 (3)、を含むことを特徴とする偏光フィルムの製造方法。

【請求項 2】

前記偏光子が、二色性物質を配向させたポリビニルアルコール系樹脂からなる連続ウェブの偏光膜であって、かつ、前記片保護偏光フィルムが、熱可塑性樹脂基材に製膜されたポリビニルアルコール系樹脂層を含む積層体が空中補助延伸とホウ酸水中延伸とからなる 2 段延伸工程で延伸されることにより得られた光学フィルム積層体の偏光膜の表面に前記ポリビニルアルコール系接着剤層を介して前記第 1 透明保護フィルムを貼り合わせたのち当該熱可塑性樹脂基材を剥離したものであることを特徴とする請求項 1 記載の偏光フィルムの製造方法。

【請求項 3】

前記工程 (1) において、片保護偏光フィルムにおける偏光子の第 2 面に活性エネルギー

一線硬化型接着剤を塗工した後、2秒間以上を経過してから、前記工程（2）を施すことを特徴とする請求項1または2記載の偏光フィルムの製造方法。

【請求項4】

前記活性エネルギー線硬化型接着剤の粘度が、 $10 \sim 350 \text{ cps}$ （ 25°C ）であることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の偏光フィルムの製造方法。

【請求項5】

前記工程（1）により、片保護偏光フィルムにおける偏光子の第2面に、活性エネルギー線硬化型接着剤を塗工する前に、偏光子の第2面にドライ処理を施す工程を含むことを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の偏光フィルムの製造方法。

【請求項6】

前記工程（3）における活性エネルギー線の照射を、第2透明保護フィルムの側から行うことを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の偏光フィルムの製造方法。

【請求項7】

前記工程（3）により形成される接着剤層の厚みが、 $300 \text{ nm} \sim 1.3 \mu\text{m}$ であることを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の偏光フィルムの製造方法。